

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
フューチャー・アース国内連携分科会（第25期・第2回）議事要旨

- 1 日時 2023年8月17日(木) 14:00～17:00
- 2 方法 オンライン開催 (Zoom)
- 3 出席者 委員：高村ゆかり、三枝信子、春山成子、江守正多、大手信人、福士謙介、古谷研
オブザーバ：[話題提供者] 蟹江憲史 (連携会員)、春日文字子 (連携会員)、
稲場雅紀 (アフリカ日本協議会)、三輪 敦子 (アジア・太平洋人権情報センター・SDGs
市民社会ネットワーク)、神志那ゆり (国立環境研究所)、 [事務局] 齊藤美穂、稲元祥
吾 (以上、敬称略)

欠席者 委員：狩野光伸、沖大幹、小林傳司

4 議題

- 1) 前回議事要旨確認
- 2) ステークホルダーとの連携事例の共有と議論
- 3) フューチャー・アース日本サミットについて
- 4) 第26期への引継ぎ事項について
- 5) その他

5 配布資料

資料1：フューチャー・アース国内連携分科会（第25期・第1回）議事要旨

資料2：Future Earth 国内連携の事例紹介ーSDGs への貢献を目的とした、民間セクターとアカデミアとの協働（春日先生）

資料3：フューチャー・アース日本サミット開催案

資料4：次期への申し送り事項案

参考資料1：フューチャー・アース日本委員会 参加機関

参考資料2：フューチャー・アース日本委員会 運営委員会名簿

参考資料3：フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会活動報告

参考資料4：フューチャー・アース国内連携分科会報告

6 議事内容

議事に先立ち、江守委員長より、会の趣旨説明及び進行の流れについて説明がなされた。

1) 前回議事要旨確認

江守委員長から資料1に基づき前回議事要旨について確認があった。修正点はなかった。

2) ステークホルダーとの連携事例の共有と議論

アカデミアとステークホルダーの連携の事例として、2022年に二度にわたって開催された「SDGs実施指針に関するパートナーシップ会議」の紹介を、会議を主催したSDGs推進円卓会議民間構成員のメンバーである蟹江氏・春日氏よりいただいた。蟹江氏からは、パートナーシップ会議開催の経緯や進め方及び提言について、春日氏からは、資料2に基づき、パートナーシップ会議開催と並行して進めた民間セクター及び若者との協働プロジェクトについて、話題提供があった。続いて、同民間構成員メンバーである三輪氏より日本でのSDGs推進における課題、特に目標16に関して日本にまだ国内人権機関がないことなどについてコメントがあり、議論を行った。委員からは、SDGs推進における教育の在り方やグローバルサウスへの日本の貢献についての質問や意見があり、同じく民間構成員の稲場氏からは、今後のSDGs推進には推進基本法の制定が有効であるがその実現には困難が予想されるなどの情報が共有された。

3) フューチャー・アース日本サミットについて

江守委員長から、資料3に基づきフューチャー・アース日本サミット開催案について説明があり、蟹江氏と春日氏から日本サミットとしての戦略や宣言を打ち出すのはどうかとのコメントを受けた。また、春山委員より、プレナリーセッションにおける講演・議題の方向性については、予め運営委員会内で相談しておく必要があるとの指摘があった。

4) 第26期への引継ぎ事項について

江守委員長から資料4に基づき次期への申し送り事項について説明があり、その後意見交換が行われた。フューチャー・アース国内連携分科会が来期も必要かどうかについて、委員とオブザーバによる意見交換が行われた。最後に、本日の議論を反映した申し送り事項の修正と親委員会への報告、学術会議への提出を、江守委員長に一任することが承認された。

5) その他

特任連携会員の推薦方法についての認識共有がなされた。

以上